

一 般 質 問

Q 防災マップの作成状況は

山 内 裕

一、防災対策について、災害が予想される区域など防災情報を示した防災マップの作成状況はどうなっているか。従来の避難場所や避難経路の見直しはされているのか、また、行政や町民の防災訓練の実施状況はどうなっているか。

二、危険家屋と空き家対策について、「老朽化し隣地に危険を及ぼす」、「不法投棄を助長している」、「火災などの発生の恐れ」がある危険家屋の現状をどう捉えているか。近年相当数の空き家が目立つが、実態の把握と対策をどう考えているか。

A 来年度の早い時期に配布したい

町 長 関 次 雄

一、防災マップは北海道の津波シミュレーションデータが全面的に見直されるため、本年度中の作成を見送り、提供された最新データに基づき、来年度の早い時期に作成し配布したい。現在の避難場所、避難経路は災害別に指定していないので、津波災害を想定し、対応マニュアルを作成して周知する。

防災訓練は今年9月に小平市街全域を対象として行う予定で、町職員、町民の防災意識の向上を図りたい。

二、家屋は個人資産であり、抜本的な対策を講じることは難しい現状にある。危険家屋・空き家の実態は全町で171戸あり、危険家屋には粘り強く所有者へ解体などをお願いをしていく。空き家については、火災予防の観点から文書で適正管理の指導を行っている。

総務産業常任委員会所管事務調査

去る6月22日、新体制になってから初めての所管事務調査が行われましたので、その様子を報告します。

■鬼鹿牧場隔障物改修工
事及び運営状況について



フェンスの杭に間伐材を使用することで強度が増すとともに逃牧に対する抑止効果が期待され、また、資材等の軽減が図られている。今後、老朽化に伴う各施設の大規模な改修も考えられるので、指定管理者であるJAと十分協議して進められたい。

また、放牧計画頭数が80頭となっているが利用

者の要望等に対し柔軟に対応すべく、JAと連携を密にして効率的な運営を図りたい。

■おにしかこども園及び鬼鹿幼稚園の運営状況について

開園して2か月が経過したが、今後においても併設する幼稚園と連携を密にし、安全面に留意され運営されたい。

また、おにしかこども園の運営実績を踏まえ、小平地区への適応性の判断や認可・認可外のいずれが適当かなど、その選定にあたり検証されたい。



■防災資機材保管状況について

平成16年の災害を受け、